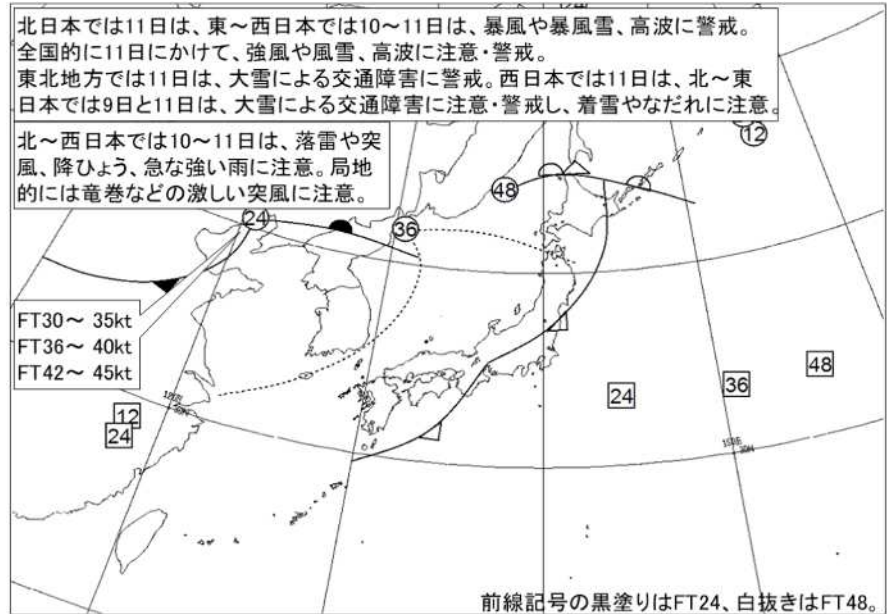


1. 実況上の着目点

- ① 日本付近は西高東低の冬型の気圧配置となっている。北～東日本の日本海側では3時間に5cm前後の降雪を観測。また、全国的にやや強い風や強い風が吹き、波が高くしている所がある。
- ② 500hPa 5340m付近に-36℃以下の寒気を伴うトラフに対応した低気圧がモンゴル付近にあって、東進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の冬型の気圧配置は9日は緩むが、寒気が残るため降雪が強まり大雪となる所がある。北～東日本では9日はじめは、大雪や着雪、なだれに注意。また、気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風が吹き、波が高くしける所がある。全国的に9日は、強風や風雪、高波に注意。
- ② 1項②のトラフは、深まりながら南東進、10日は日本海まで進む。また、低気圧は、前線を伴って10日朝は日本海へ進み、その後急速に発達しながら日本海を北東進、日本付近は11日は強い冬型の気圧配置となる。前線や低気圧周辺、および冬型の気圧配置の影響で気圧の傾きが大きくなり、雪を伴った強い風や局地的には非常に強い風が吹き、波が高く大しけとなる所がある。北日本では11日は、東～西日本では10～11日は、暴風や暴風雪、高波に警戒。全国的に10～11日は、強風や風雪、高波に注意・警戒。また、前線や低気圧に向かう下層暖湿気や上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では10日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 11日は強い冬型の気圧配置となり、850hPaで北日本には-12～-15℃、東～西日本には-9～-12℃の強い寒気が流入し、降雪が強まり大雪となる所がある。東北地方では11日は、大雪による交通障害に警戒。北～西日本では11日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪やなだれに注意。また、11日朝までに日本海寒帯気団収束帯（JPCZ）が形成し、東北日本海側を指向、その後ゆっくり南下する。JPCZ周辺では降雪の強まりに注意。また、大気の状態が非常に不安定となるため、北～西日本日本海側では11日は、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項〔量的予報等〕

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：東北20、北海道15cm。
- ③ 波浪(明日まで)：北陸・中国6、北海道・東北・近畿5、その他広い範囲で3～4m。
- ④ 高潮(明日まで)：東～西日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無

「暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報」を5時頃発表予定。